

【「西宮市水道ビジョン」の施策に関連する業務指標の評価結果】

基本目標	施策	番号	業務指標	優位性 (指標の 望ましい 方向性)	業務指標値					比較対象(評価基準)				定量的評価						定性的評価					
					H19 <基準>	H21	H22	H23	H24	経年 比較	他事業者(類似団体等)比較	NWR21 計画値	その他の 計画値	基礎的な評価 (偏差値・改善度)					達成率	問題点 (経年比較・他事業者比較)	課題 (計画値との差)				
					全市	全市	全市	全市	全市	改善	平均値	偏差値	50 以上	H30	Aa	Ab	Ba	Bb				D	点数		
1 安心して飲める水道	1-1) 水道水質の改善	1104	水質基準不適合率 (%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	50.0								3	100.0	すべての水質検査で水質基準に適合している。	今後も水質基準に不適合とならないよう、引き続き水質管理の強化に努め、水質の変化に迅速に対処していく必要がある。		
		1105	カビ臭から見たおいしい水達成率 (%)		50	70	70	80	80		81.3	49.0									2		H24は指標値は前年度と同値である。指標値は改善傾向にあるが、偏差値は平均を少し下回っている。		
		1106	塩素臭から見たおいしい水達成率 (%)		0	0	0	0	0		29.5	40.3									1		指標値は0%で推移しており、偏差値は低い。		
		1107	総トリハロメタン濃度水質基準比 (%)		47	53	40	32	43		37.5	47.1	2								2	13	H23より河川水を水源とする鯉池浄水場が浄水処理を停止したことにより、指標値は改善傾向となっているが、偏差値は低めとなっている。		
		1114	消毒副生成物濃度水質基準比 (%)		15	21	16	9	14		9.1	42.2									2		H23以降、河川水を水源とする鯉池浄水場が浄水処理を停止したことにより、指標値は改善傾向にあるが、偏差値は低い。		
		1116	活性炭投入率 (%)		13.7	19.7	12.3	0.0	0.0		30.1	57.7									3		H23以降、河川水を水源とする鯉池浄水場が浄水処理を停止したことにより、指標値は0となり、改善傾向にある。偏差値は高くなっている。		
	1-2) 水質管理の強化	1101	原水水質監視度 (項目)		134	134	77	56	56		95.6	41.8									1		H22以降、丸山貯水池の農業検査を行わなくなったため、指標値は悪化傾向にあり、偏差値も低い。		
		1102	水質検査箇所密度 (箇所/100km2)		16.3	16.3	16.3	16.3	16.3		15.5	50.7									3	10	偏差値は平均を少し上回っている。		
		1103	連続自動水質監視度 (台/(1,000m3/日))		0.075	0.076	0.076	0.077	0.078		0.0	58.9									3		偏差値は高く、指標値も改善傾向にある。自動水質監視装置は南部で10台、北部で2台設置しており、連続監視体制は整っている。		
		1104	水質基準不適合率 (%) (再掲)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	50.0									3	100.0	すべての水質検査で水質基準に適合している。	今後も水質基準に不適合とならないよう、引き続き水質管理の強化に努め、水質の変化に迅速に対処していく必要がある。	
	1-3) 給水装置等の適正管理	1115	直結給水率 (%)		92.6	92.9	93.1	93.3	93.0		86.6	54.6									3		給水装置単位で算出しているため、他事業者との比較は難しい。偏差値は高めであり、指標値も改善傾向にある。		
		1117	鉛製給水管率 (%)		* 48.8	* 46.3	* 43.6	* 39.9	* 38.0		13.2	33.8	1	21.8	10.0						2	7	68.9	給水装置単位で算出しているため、他事業者との比較は難しい。偏差値は非常に低いが、鉛製給水管の取替えを進めており、指標値は改善傾向にある。	鉛製給水管の解消に向けて、今後も積極的に取替えを進めていく必要がある。(参考)達成率 H23:68.8%、H24:68.9%
		5115	貯水槽水道指導率 (%)		0.2	26.3	55.2	12.9	16.0		18.3	49.2									2		偏差値は平均を少し下回っているが、指標値は改善傾向にある。		

【「西宮市水道ビジョン」の施策に関連する業務指標の評価結果】

Table with 15 main columns: 基本目標, 施策, 番号, 業務指標, 優位性, 業務指標値, 比較対象(評価基準), 定量的評価, 定性的評価. It contains detailed performance metrics for water supply services, organized into sections 2-1, 2, and 2-3.

【「西宮市水道ビジョン」の施策に関連する業務指標の評価結果】

Table with columns for Strategy, Business Indicator, Evaluation Basis, Comparison Object, Quantitative Evaluation, and Qualitative Evaluation. It details various metrics like employee productivity, operational efficiency, and financial health across different organizational categories.

【「西宮市水道ビジョン」の施策に関連する業務指標の評価結果】

基本目標	施策	番号	業務指標	優位性 (指標の望ましい方向性)	業務指標値					比較対象(評価基準)				定量的評価							定性的評価			
					H19 <基準>	H21	H22	H23	H24	経年 比較	他事業者(類似団体等)比較	NWR21 計画値	その他の 計画値	基礎的な評価 (偏差値・改善度)					達成率	問題点 (経年比較・他事業者比較)	課題 (計画値との差)			
					全市	全市	全市	全市	全市	改善	平均値	偏差値	50 以上	H30	Aa	Ab	Ba	Bb				D	点数	
4 お客様から親しまれる水道	4-1) 手続き・給水サービスの向上	3205	水道サービスに対する苦情割合 (件/1,000件)		1.35	0.84	0.70	0.78	0.62		1.0	51.8								3	10	偏差値は平均を少し上回っており、指標値も改善傾向にある。		
		3206	水質に対する苦情割合 (件/1,000件)		0.40	0.69	0.64	0.73	0.60		0.3	41.5								1		偏差値は低く、指標値も悪化傾向にある。		
		3207	水道料金に対する苦情割合 (件/1,000件)		0.336	0.105	0.023	0.005	0.004		0.2	52.7								3		偏差値は高めであり、指標値も改善傾向にある。		
		5106	給水管の事故割合 (件/1,000件)		6.8	5.9	6.5	5.3	5.0		6.0	52.2								3		偏差値は高めであり、指標値も改善傾向にある。		
	4-2) 広報・広聴の充実	3112	直接飲用率 (%)		88.4	86.2	93.9	91.6	93.4		62.2	62.6								3		偏差値は非常に高く、指標値も改善傾向にある。		
		3201	水道事業に係る情報の提供度 (部/件)		2.0	2.0	2.1	2.0	2.0		2.2	48.9								2		偏差値は平均を少し下回っているが、指標値は改善傾向にある。		
		3202	モニター割合 (人/1,000人)		0.06	0.06	0.07	0.07	0.07		0.0	59.0	2							3	11	H22にモニター定数を30人 35人に増加したため、指標値は改善傾向にある。また、偏差値も高くなっている。		
		3203	アンケート情報収集割合 (人/1,000人)		0.37	0.14	1.03	0.49	0.63		1.9	43.6								2		偏差値は低くなっているが、指標値は改善傾向にある。アンケートを主に実施する水道パネル展の来場者数が指標値に大きく影響する。		
		3204	水道施設見学者割合 (人/1,000人)		4.0	4.9	3.6	2.5	2.2		7.2	43.1								1		H22以降に大規模浄水場を閉鎖したことに伴い、小学校の浄水場見学校数が減少している。偏差値は低く、指標値も悪化傾向にある。		
	5 環境にやさしい水道	5-1) 省エネルギーの推進 自然エネルギーの有効活用等	4001	配水量1m3当たり電力消費量 (kWh/m3) (再掲)		0.25	0.26	0.24	0.18	0.18		0.3	58.5		0.19						3	100.0	H23以降は鯉池浄水場が浄水処理を停止したことに伴い電力使用量が減少したため、指標値は減少し、偏差値は高くなっている。また、指標値は改善傾向にある。阪神水道企業団からの浄水受水が主な水源であることも大きく影響している。	送配水施設の再編成を進めることにより、さらなる省電力が図れる。
4002			配水量1m3当たり消費エネルギー (MJ/m3) (再掲)		0.97	0.98	0.92	0.69	0.67		1.2	58.2		0.68						3	100.0	H23以降は鯉池浄水場が浄水処理を停止したことに伴い電力使用量が減少したため、指標値は減少し、偏差値は高くなっている。また、指標値は改善傾向にある。阪神水道企業団からの浄水受水が主な水源であることも大きく影響している。	送配水施設の再編成を進めることにより、さらなる省エネルギーが図れる。	
4003			再生可能エネルギー利用率 (%)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.7	46.3		1.72						1	0.0	再生可能エネルギーは利用していないが、太陽光発電の工事を予定している。	太陽光発電の導入により、環境負荷の低減に努める必要がある。	
4006			配水量1m3当たり二酸化炭素(CO2)排出量 (g-CO2/m3)		89	95	74	59	82		168.1	55.7		67						3	33.2	偏差値は高くなっており、指標値も改善傾向にある。'4001 配水量1m3当たり電力消費量' '4002 配水量1m3当たり消費エネルギー' に比例するが、電力供給元である電気事業者の排出係数の増減の影響も大きい。また、阪神水道企業団からの浄水受水が主な水源であることも大きく影響している。	今後、送配水施設の再編成を進め、省エネルギーを図ることにより、CO2の排出量を削減することが必要である。	
5-2) 漏水防止対策の推進		5107	漏水率 (%)		1.8	2.0	1.7	2.2	1.5		5.3	58.9		1.9						3	100.0	漏水量の減により、偏差値は高く、指標値も改善傾向にある。	今後も計画的な漏水調査・修繕や老朽管の更新を行う必要がある。	
		5108	給水件数当たり漏水量 (m3/年/件)		5.0	5.2	4.4	5.7	3.9		15.4	57.8	2	4.8						3	7	100.0	漏水量の減により、偏差値は高く、指標値も改善傾向にある。	今後も計画的な漏水調査・修繕や老朽管の更新を行う必要がある。
		5111	管路点検率 (%)		28	27	30	25	27		33.2	47.6								1		偏差値は低めであり、指標値も悪化傾向にある。		
5-3) 廃棄物の減量化・リサイクル		4004	浄水発生土の有効利用率 (%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		56.6	37.7								1	4	浄水発生土の有効利用を実施していない。		
		4005	建設副産物のリサイクル率 (%)		97.1	75.3	99.9	99.3	96.2		69.9	59.8	1							3		リサイクル率は高い水準にあり、偏差値は高くなっている。また、指標値は改善傾向にある。		
5-4) 環境保全のための管理 活動の充実																								
										51		39												